

各位

エンデバー・ユナイテッド株式会社

**山和建設、小野中村、南会西部建設コーポレーションの持株会社合併による経営統合及び
山和建設・小野中村ホールディングスの社名変更に関するお知らせ**

弊社が管理・運営するファンド、エンデバー・ユナイテッド 2 号投資事業有限責任組合が出資する、山和建設・小野中村ホールディングス株式会社は、2022年7月1日をもって、株式会社南会西部建設コーポレーションの持株会社との合併による経営統合（以下「本経営統合」）を行い、併せて同日付で、持株会社名を株式会社 UNICON ホールディングス（ユニコンホールディングス）に変更することをお知らせいたします。



山和建設、小野中村、南会西部建設コーポレーションは、今後 UNICON グループの一員として、地方建設業界の課題解決を企図して掲げる「地域連合型ゼネコン」のコンセプト具現化に向けた取り組みを、より一層加速してまいります。

【詳細説明】

〔地方建設業界の抱える課題〕

国土強靱化/ナショナル・レジリエンスの打ち出しにより、今後も地方に大きな公共土木工事予算がつくと言われている一方で、その担い手となる地方の建設業界では、技術者の不足や地域による受注の偏在などが課題となっております。

国土交通省主導で、国土強靱化を支える「地域の守り手」として、地域建設業の育成を試みる動きはありますが、上記課題を事業者単独で解決することは容易でないのが実情です。

〔「地域連合型ゼネコン」のコンセプト〕

上記課題に対して、UNICON グループが提唱するのが「地域連合型ゼネコン」モデルです。これは、各地域の有力ゼネコンを資本的に結び付け、地域（自治体の工事発注単位）を超えた事業連携体制を構築することにより、連結ベースでの高収益・高成長の両立を狙うものです。

地域を超えたグループとして、構成各社の受注力と技術者を共有することにより、地域ごとの受注繁閑の平準化や技術者の最適配分(融通)を実現し、上記課題の解決を図ります。

また、技術者リソースの拡充に関しては、今後 UNICON ホールディングスを採用のフラッグシップとして前面に打ち出すことで、個社採用ではアクセスしきれていなかったレイヤ(若年層等)へのリーチを拡充し、構成各社の技術者採用にドライブをかけていく予定です。結果として、構成各社は地域の雇用を創出する母体として更なる地域貢献を果たしてまいります。

〔持株会社名変更の背景〕

山和建設・小野中村ホールディングス株式会社は、昨年の発足以降、「つながり、超えて、未来をつくる」というビジョンの下、地方ゼネコンの新たな在り方を模索してまいりました。

この度、南会西部建設コーポレーションの参画を機に、つながりを意味する「United」、ゼネコンを意味する「Constructor」を掛け合わせた「UNICON」を新商号として掲げることで、これまでの動きをより一層加速していきたいと考えております。

<持株会社の概要>

会社名 株式会社 UNICON ホールディングス

所在地 宮城県仙台市宮城野区

代表者 小山剛

(URL: <https://unicon-holdings.co.jp>)

<事業会社の概要>

会社名 山和建設株式会社

所在地 山形県西置賜郡小国町

代表者 小山剛

会社名 株式会社小野中村

所在地 福島県相馬市

代表者 小野 貞人 平澤 慎一郎

会社名 株式会社南会西部建設コーポレーション

所在地 福島県会津若松市

代表者 植村 賢二

以上